

ロー

ズキングダム、リルダヴァル、ダイワファルコンの3頭買い

桜花賞が終わり皐月賞だというのに、今年は「春爛漫」とはならない。昨日、今日は、雨にたたられたうえ、寒風吹きすさぶ、まるで真冬のような天気だ。天気予報を見ると、皐月賞当日はなんとか回復して晴れマークがついているが、はたして春の陽気が戻るのだろうか？

重の皐月賞というと、思い出すのは1980年の優勝馬ハワイアンイメージ。このときは、いわゆる「田んぼのような」不良馬場で、勝ち時計は、なんと2分10秒2もかかった。

1983年、3冠馬になったミスターシービーが勝った皐月賞も不良馬場だった。一般的に不良は追い込みがきかないが、このときのシービーは道中16、17番手を進むと、向正面から一気に進出し、4コーナーでは先頭を切っていたカツラギエースの直後に付け、最後の直線で先頭に立つというレースだった。このときの2着は、追い込んだメジロモンズニーだから、重では逃げ

馬、先行馬が有利とは限らない。



この10年ほど、皐月賞が重になったことはない。勝ちタイムも2分を切る1分58～59秒台が主流になって、中距離スピード競走という様相がますます強まってきた。はたして、このまま馬場は回復しないのか？　しないとすれば、今年はどんなレースになるのだろうか？

さて、枠順と人気を見ると、やはり混戦模様だ。前々日オッズ

では、単勝ひとケタ台に6頭がひしめいている。1番人気は弥生賞勝ちの13番ヴィクトワールピサだが、4.0倍もある。5番ローズキングダムは4.5倍で続いている。そして、リルダヴァル7.4倍、アリゼオ7.9倍、ヒルノダムール9.6倍、12番エイシンアポロン9.9倍までが10倍未満だ。

1-1 リルダヴァル (牡3、福永祐一、栗・池江泰郎厩舎)

1-2 ハンソデバンド (牡3、蛸名正義、美・尾形充弘厩舎)

2-3 トーセンアレス (牡3、田中勝春、美・鈴木康弘厩舎)

2-4 ネオヴァンドーム (牡3、安藤勝己、栗・藤原英昭 厩舎)

3-5 ローズキングダム (牡3、小牧太、栗・橋口弘次郎厩舎)

3-6 ゲシュタルト (牡3、勝浦正樹、栗・長浜博之厩舎)

4-7 レッドスパークル

(牡3、秋山真一郎、栗・藤岡健一厩舎)

4-8 バーディバーディ (牡3、松岡正海、栗・池江泰郎厩舎)

5-9 サンディエゴシチー（牡3、浜中俊、栗・作田誠二厩舎）

5-10 シャイン（牡3、和田竜二、栗・川村禎彦厩舎）

6-11 エイシンフラッシュ（牡3、内田博幸、栗・藤原英昭厩舎）

6-12 エイシンアポロン（牡3、池添謙一、栗・岡田稲男厩舎）

7-13 ヴィクトワールピサ（牡3、岩田康誠、栗・角居勝彦厩舎）

7-14 レーヴドリアン（牡3、藤岡佑介、栗・松田博資厩舎）

7-15 ダイワファルコン（牡3、北村宏司、美・上原博之厩舎）

8-16 ヒルノダムール（牡3、藤田伸二、栗・昆貢厩舎）

8-17 ガルボ（牡3、後藤浩輝、美・清水英克厩舎）

8-18 アリゼオ（牡3、横山典弘、美・堀宣行厩舎）

さて、今回は、選びに選び抜いた3頭の馬単、馬連、3連単、3連複すべての組み合わせを買う。

なにしろ、この予想は外れる美学を追求している。外れて美しいのは、一見当たりそうに見えて当たらないことだ。とすれば、もっとも単純な買う理由が必要なのではと考えた。その結果、ローズキングダム、リルダヴァル、ダイワファルコンの3頭が浮上した。

どれも有力馬である。どれか1頭ぐらい来るだろう。しかし、この3頭がぜんぶ来ることがあるだろうか？

では、なんでこの3頭を選んだかだが、この3頭がいずれも前走

で3着に負けているからだ。そして、全出走馬で前走が3着だったのはこの3頭だけだ。これほど、単純で美しい理由はない。しかし、3頭とも来たら笑うしかない。